

# 1 学年通信 No.9

2021 年(令和3年)10月27日

福山市立新市中央中学校



## 文化祭特集!

「Rainbow 全校生徒一人一人の色が輝き、虹のように人を感動させられる文化祭に！」のテーマの下、学校全体が心を揃えて取り組み、それぞれが輝いた文化祭が終わりました。

コロナ禍で実施が危ぶまれる中、例年より短い準備期間ではありましたが、ステージで発表した人だけでなく、それを支えた1学年みんなの思いの込められた学年発表でした。



吹奏楽部の発表で、見に来てくれた人たちに暖くなるような演奏ができるように練習を頑張りました。時間がなくても最後まであきらめずに頑張ったら、とても良い経験ができたなと感じました。3年生の発表を見て、自分が最高学年になったときに短い期間での練習でも、文化祭を成功させるように2年の発表でも後悔がないようにしたいです。

1年生の発表は総合で発表した時より、さらに工夫されていて、文化祭の発表まで、自分のスライドを見直して短期間の中でよいものにしようと努力したことがすごく伝わってくる発表だったと思います。

学年の発表や部活動の発表を耳だけで聞くんじゃなくて、目や耳、心でも人の話していることを聞くようにして職場体験学習でいっぱい話を聞いて帰るようにする。



ぼくは先輩たちの発表を見て、どの学年も難しい内容で、すごく考えていたし、工夫もされていたので、僕たちがその代になったら、先輩たちのようによく考えて工夫も取り入れながら発表したいです。



この文化祭で学んだこと、頑張ったことなどを自分の係活動を積極的に取り組むことで生かしていきたいし、職場体験で気を付けることなども考えさせられた文化祭だったと思う。

他の学年も少ししか時間がない中で一生懸命頑張っていたことが分かった。学校生活で生かすことは、苦手な教科にも一生懸命取り組むということ。

この文化祭を通して、今回のように情報を伝えるときには、どんなことを意識したら良いのかが分かりました。そして、発表に対する不安を少し減らすことができたので、学校で授業をしているときにも相手に分かりやすく情報を伝えられるように頑張りたいです。

自分は文化祭での発表はなかったけれど、代表で発表した人の練習を見ていて、文化祭のために塾でも学校でも発表の練習をして、家でも夜遅くまでスライドを工夫したり直したり原稿を考えたりしていてすごいと思った。発表を成功させるために文化祭りぎりまで頑張っていたのを見て、最後まであきらめずに頑張ることが大切だと学びました。そして文化祭で学んだことを生かすために、自分の係や委員会などの仕事を最後までやりきることや発表者のようにその場にあった声の大きさを話したり発表することを頑張っていきたいと思いました。

文化祭で学んだ、みんなとの団結力やいろんな人をまとめる力を大事に今後の学校生活を楽しく取り組んで行きたいと思っています。とても楽しいという心も忘れずにみんなをまとめて、その力を将来につなげていこうと思います。

私は部活動の発表で、3年生がいなくても自分たちだけでやりきることを目標に練習を頑張りました。1年生の発表は、クラスで発表したときよりさらに工夫されていて、文化祭の発表までに自分のスライドを見直して短期間の中でよいものにしようと努力したことがすごく伝わってくる発表だったと思いました。

地域紹介で作ったスライドの文字を大きくして相手に見やすくしたり、文字をたくさん書くのではなく、説明の手助けをするものとして、画像をメインに作ればよいことが分かった。美術のはがきはもっと丁寧に描こうと思う。そしてボソボソと喋らず、ハキハキと喋ることを意識して次からは発表をしようと思う。スライドは何枚も作ればよいとは限らない。

2年生の発表を見て、動画の中で楽しそうに、でも真剣にミッションに取り組んでいて、自分にもこれができるか正直不安だけど、来年がもっと楽しみになった。3年生のミュージカルは感動して泣きそうになった。2週間ほどでやったようなものとは思わなかった。これが3年生なんだと圧倒された。一人ひとりしっかり役になりきっていて、私も早くミュージカルをやりたいと思った。3年生の発表の中のセリフで「幻は消えてしまうけど、夢は消えない」みたいなセリフが強くて強く心に響いた。夢も希望も無くなってしまうだけで毎日がこんなにも変わってしまうんだと3年生の発表で分かった。私は毎日が楽しいのは、夢や希望がたくさんあるからだと思う。でも夢は勝手には叶ってくれないから、地道な努力をしていきたいと思いました。コツコツ重ねていくのは苦手だけど、この3年生の発表を思い出して毎日を大切に過ごしていきたい。